

計画の具体化に向けて みなさんから頂いたご意見

～平成17年9月から平成18年3月末まで～

- 本資料は、「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）についての考え方」や「計画概念図」、「環境への影響と保全対策」等を示しつつ、計画の具体化に向け、みなさんから頂きました心配事項や提案を、国と都が整理してまとめたものです。
- 意見は、具体的な場所がイメージできるよう地図上にまとめています。その他、必要性に関するご意見や検討の進め方に関するご意見は、別にまとめています。
- 今後も引き続き地元のみなさんのご意見をうかがいながら、計画検討を進めていきます。

東名ジャンクション周辺での計画に関するご意見

(東名ジャンクション)

○ジャンクションからの排気ガスや埃による住民(特に子供)の健康や物干しへの影響、(夜間の)騒音・振動が心配。
 ・ジャンクションを大蔵運動公園の地下へ
 ・シェルター化・ジャンクションの地下化
 ・東名ジャンクションのランプのドーム化
 ・全体のドーム化
 ・地域の子供達の健康状態を調査
 ・ジャンクション部の予測・評価

○外環の東名以南が同時に整備されないことで、地上に向かうランプ部が過大投資にならないか懸念。
 ・東名以南との同時整備

○将来の生活設計をしたいが、いつ立ち退くことになり、補償がどうなるか分からないので不安。
 ・早期事業化・立ち退きの個別説明
 ・計画の進捗状況情報開示

○地域が分断され、生活が大きく変わらないか心配。
 ・東名ジャンクションを砦公園に移設
 ・生活道路は現在と同じ量を確保
 ・多摩堤通りから世田谷通りへの道路を整備
 ・周辺道路の青写真の提示
 ・都市計画の公開コンペ

○地域にとってメリットがあることが大事。

○ジャンクション周辺の景観がどうなるのか分からないので心配。
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・ランプを東名高速の下に設置
 ・ランプを野川の下に設置
 ・東名ジャンクションを砦公園、大蔵公園に設置
 ・照明、防音壁等のカラー等

○ジャンクションにより東京湾からの海風や野鳥の飛来が遮られないか心配。
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・ジャンクションの高さの明示

○ジャンクション設置によるヒートアイランドの発生が心配。
 ・現地観測地点の追加

○計画線外であっても、環境面で被害があったら補償をしてもらえるのか心配。

○トンネルの深さがわからず、建物を建てる際に杭を打っても大丈夫なのか不安。
 ○外環本線から東名ジャンクションのランプの上り坂による排気ガスの影響が不安。

(世田谷通りインターチェンジ)

○世田谷通りと周辺生活道路の混雑が心配。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

○東京インターチェンジとの距離が近いことを懸念。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

○利便性よりも環境への影響が心配。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

○インターチェンジができなくても世田谷通りを拡幅することになるのか不安。

○地域の利便性向上が大事。
 ・世田谷通りインターチェンジの設置
 ・インターチェンジを設置し、名称に“狛江”を入れて知名度向上

(大深度区間の地上部)

○地盤が緩いところなので、トンネルからの騒音や振動が不安。
 ・騒音を抑える舗装
 ・地盤強度や杭への影響に配慮

○大深度区間の地上部で土地の資産価値に影響がないか心配。
 ・土地の買い上げ、緑化

(東名高速の側道付近)

○現在でも暗く、人通りが少ないので地域の治安が悪くならないか不安。

(外環の東名以南)

○東名以南の計画がどうなるか分からないので不安。
 ・都市計画決定部分までの整備
 ・東名以南と併行して検討

○外環の東名以南を整備する際に、再度工事を行うことにならないか心配。

(換気所)

○換気所からの排気による影響が、地形との関係も含めてどうなるか不安。
 ・換気所の分散・浄化施設の設置
 ・脱硝装置、集塵装置の設置

○換気所からの発熱を懸念。

○換気所の煙突が景観に与える影響が心配。

(殿山)

○地域で親しまれた地形を残すことが大事。
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・全体の公園化

(地域全体)

○崖線、湧水、井戸水、川とそれに伴う動植物、歴史的資産が揃ったこの地区の環境が大切。
 ・外環は不要・東名ジャンクションを緑地化
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・ルート選定の根拠、代替案の提示

○都内でも有数のこの地区の地下水への影響が心配。
 ・透水路を増やす

○オオタカの営巣への影響がないか心配。

(料金所・トンネル坑口部)

○料金所での自動車の加減速による騒音や排気ガスによる大気汚染が心配。
 ・東名ジャンクションのランプのドーム化
 ・料金所の地下化・料金所の大気汚染の事例

○トンネル坑口の景観がどうなるのかに関心。
 ・地域の声の反映

○トンネル坑口部からの騒音・排気ガスの影響が心配。

(国分寺崖線と野川の間地域)

○昔から空気がたまりやすいと言われているので、換気所からの排気による影響が心配。
 ・現地観測地点の追加・最新の浄化施設の設置

(ランプ部)

○トンネルの深さがわからず、建物を建てる際に杭を打っても大丈夫なのか不安。
 ○外環本線から東名ジャンクションのランプの上り坂による排気ガスの影響が不安。

(世田谷通りインターチェンジ)

○世田谷通りと周辺生活道路の混雑が心配。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

○東京インターチェンジとの距離が近いことを懸念。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

○利便性よりも環境への影響が心配。
 ・世田谷通りインターチェンジは不要

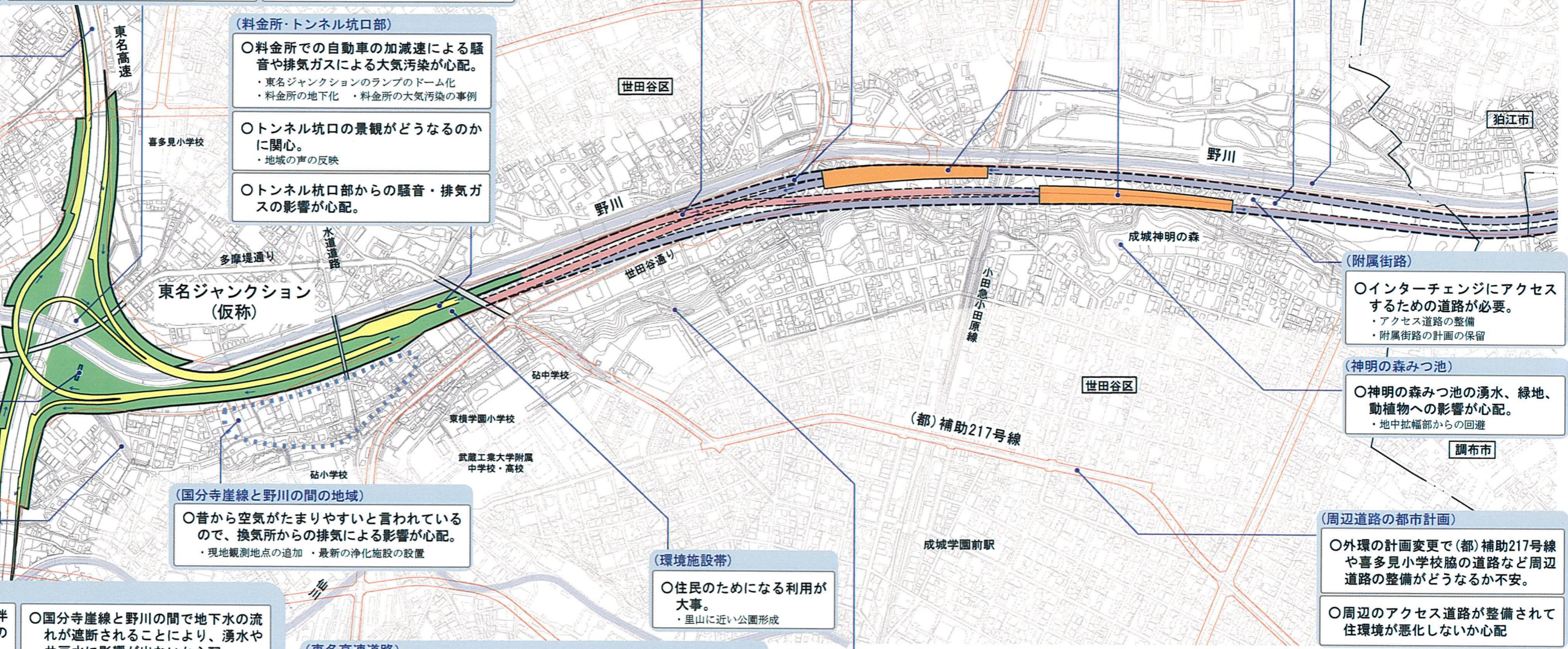
(分岐合流部)

○工事中の振動がどうなるかわからないので不安。

(野川)

○野川沿いの豊かな自然が損なわれないか心配。
 ・外環は不要・砦公園の有効活用
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・未利用地の買収・緑化
 ・地上部を野川緑地のような緑豊かな環境整備

○野川の水源や水量に影響が出ないか心配。



(国分寺崖線)

○国分寺崖線の貴重な自然環境が守られるのが心配。

○ジャンクションによる崖線景観の破壊を懸念。
 ・東名ジャンクションの地下化
 ・東名ジャンクションのランプの地下化

(東名高速道路)

○外環の終点になることで、東名東京インターチェンジ周辺の渋滞がひどくならないか心配。
 ・東名以南の早期事業化・周辺道路の整備
 ・世田谷通りインターチェンジは不要
 ・東京インターチェンジの改良
 ・道路以外での渋滞対策
 ・周辺の交通状況のシミュレーション

○東名の渋滞解消が大事。

○現況でも大気汚染の影響を受けていることが問題。

○現況で東名高速の遮音壁が十分でないことが問題。
 ・東名高速への環境対策
 ・防音設備を設置

(環境施設帯)

○住民のためになる利用が大事。
 ・里山に近い公園形成

(附属街路)

○インターチェンジにアクセスするための道路が必要。
 ・アクセス道路の整備
 ・附属街路の計画の保留

(神明の森みつ池)

○神明の森みつ池の湧水、緑地、動植物への影響が心配。
 ・地中拡幅部からの回避

(周辺道路の都市計画)

○外環の計画変更で(都)補助217号線や喜多見小学校協の道路など周辺道路の整備がどうなるか不安。

○周辺のアクセス道路が整備されて住環境が悪化しないか心配

凡例

(場所の説明)

○心配や懸念されること。
 ・計画に関する提案等

●意見をいただいた場所

- 外環の地上部の計画範囲
- 外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
- シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより深い箇所)
- シールドトンネル部(全ての構造が41m以上深くなる箇所)
- トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)
- 地表面の路面(外環)
- 地表面の路面(外環以外)
- 地表面のその他の施設
- 換気所
- 現在の都市計画
- 進行方向

中央ジャンクション・東八道路インターチェンジ周辺での計画に関するご意見

- (大深度区間の地上部)**
- 大深度区間の地上部で振動による影響が心配。
 - ・地盤強度や杭への影響に配慮
 - 大深度区間の地上部で土地の資産価値が低下するなどデメリットがないか心配。
 - ・買い上げや建ぺい、容積率緩和、税の軽減措置等
 - 計画線周辺で、まちづくりが進まないことを懸念。
 - ・地上部の公園化、バスルートでの活用
 - 交通量の多い道路を住宅地に通し安全性が低下することが心配。
 - 広い道路が出来て路上駐車が増えないか心配。
 - 地上部の利用がどのようになるか分からないので不安。

- (環境施設帯)**
- 防犯面から環境施設帯がしっかりと管理されるかが心配。
 - ・見通し確保
 - 環境施設帯を有効に活用することが大事。
 - ・休憩所(SA)の設置 ・地上部の緑化
- (仙川との交差点)**
- 仙川と交差する部分での河川の空間がどうなるか心配。
 - ・仙川の遊歩道の確保
- (白百合大学脇の通り)**
- トラックの抜け道となっており、さらにひどくなるのが心配。

- (換気所)**
- 換気所からの排気による大気汚染や騒音等が心配。
 - ・換気所の分散設置 ・十分な高さの確保
 - ・「いこい」の場の設置
 - ・NO2やSPMの継続的測定
 - ・ジャンクションのシェルター化
 - ・換気所の分散設置
 - 換気所による景観への影響が心配。
 - ・目立たないように

- (北野庚申堂)**
- 地域で大事にしている庚申堂の代替地が確保できるか心配。
- (北野小学校)**
- 通学路の環境変化により子供に対する犯罪が増加しないか心配。
- (料金所)**
- 料金所で自動車が加減速することによる騒音や排気ガスの影響が心配。
 - ・蓋がけ等の対策

- (東八道路インターチェンジ)**
- 三鷹市の将来性に対する考慮や地域の利便性向上が重要。
 - ・東八道路インターチェンジの設置
 - インターチェンジの設置にともなう、大気汚染や振動などの影響が心配。
 - ・街路樹、公園づくり
 - ・緑化や交差点周辺の土地の買い上げ
 - インターチェンジの設置により住宅地になじまない施設等が立地することを懸念。
 - ・環境施設帯の幅の拡大
 - ・緑化や交差点周辺の土地の買い上げ
 - インターチェンジの設置により、静かで緑多い地域が分断されることを懸念。

- 東八道路インターチェンジへのアクセス交通が生活道路に進入し、排気ガス、路上駐車、交通事故が増加することが心配。
 - ・アクセス道路の整備 ・「小型道路」の活用
 - ・善福寺周辺地区からの道路整備 ・歩道の整備
 - ・東八道路インターチェンジは不要 ・最新の浄化設備
 - ・部分供用はしない
- 東八道路がひどく渋滞するような事にならないか心配。
 - ・インターチェンジ出口を増設
- 関越道方向からの出入口までの動線が複雑なことを懸念。
- インターチェンジ入口付近の計画が変更されてどうなるか分からないので不安。

- (周辺の都市計画道路)**
- アクセス道路の整備により、中原地区が分断されてしまうことを懸念。
 - (都)3・4・3号線や(都)3・4・12号線など周辺の都市計画道路の整備がどうなるかわからないので不安。
 - ・外環と合わせて周辺道路を整備 ・新たな地域分断を生む3・4・12は不要
 - ・周辺道路の拡幅 ・詳細な資料の提示

- (国道20号インターチェンジ)**
- 調布方面から外環へのアクセス交通が東八道路インターチェンジに集中し、一帯の生活道路に進入しないか心配。
 - ・国道20号インターチェンジの設置

- (緑ヶ丘の一部等)**
- ジャンクションと仙川で周囲と隔離され、コミュニティの分断や周辺とのアクセスの確保が心配。
 - ・ジャンクションの地下化 ・希望者の(集団)移転補償
 - ・三日月地帯のまちづくりへの国の関与
 - ・仮橋の架橋 ・仙川駅と千歳鳥山駅方向のアクセスを確保
 - 川沿いで地盤が悪いので建物への影響が心配。
 - ・補償

- (地域全体)**
- 大深度トンネルにより上水道でもある地下水や玉川上水、神田川、仙川、野川への影響がないか心配。
 - ・事前調査が必要
 - 自動車利用の利便性向上が重要。
 - ・地上部道路の整備
 - ・インターチェンジ設置
 - 環境が悪化して住み続けられなくなるか心配。
 - ・行政区の見直し
 - ・地上部にシェルターをかける
 - ・ランプの高さがわかる模型を希望
 - ・全域を用地買収
 - ・住民への補償制度の検討

- 住民にとって、メリットがあることが大切。
 - ・地元のメリットの提供
 - ・吉祥寺駅南側に改札を設置
 - ・井の頭線延伸
- 地域の農業への影響が心配。
 - ・代替用農地の取得
 - ・東八道路インターチェンジは不要
- 土地の売買や利便性などに関する利害が地域の中で分かれて、しこりが残ってしまわないか心配。
 - ・換気所を東八道路インターチェンジへ移設
 - ・東八道路インターチェンジから中央道へのランプをつくらない
- 計画が変更されると都市計画線内の土地が開発されないのではないかと心配。
 - ・買い取りなどの補償
- 中央ジャンクション周辺のまちづくりに住民の意見が反映できるようにすることが大事。

- (中央ジャンクション)**
- 移転先が近場に確保できるか心配。
 - ランプ部で渋滞が生じることを懸念。
 - 工事による騒音・振動などの影響を懸念。
 - ・工事前に近隣建物、大気環境及び騒音等を調査
 - ジャンクションにより地域が分断され、バスの便が悪くならないか心配。

- 地域の分断によるコミュニティへの影響を懸念。
 - ・北野四丁目の東側から吉祥寺方向へアクセス
 - ・環境施設帯の幅を縮小 ・周辺道路の整備
 - ・外環より東側で吉祥寺通りと(都)3・4・17を連絡
 - ・北野中央通りの代替機能
 - ・環境施設帯内への側道整備
 - ・環境施設帯の外に對面通行の生活道路を整備
- 将来の生活設計をしたいが、計画が変更されても住み続けられるか心配。
 - ・環境施設帯の幅を縮小 ・外環計画の早期実現
 - ・環境施設帯の延長

- 生活環境の悪化により地価が下がらないか心配。
 - ・買い取りなどの補償
- 騒音や大気質への影響を懸念。
 - ・環境施設帯の幅の拡大
 - ・ジャンクションの地下化
- 中央ジャンクションによる景観への影響を懸念。
- 立ち退く場合に補償がどのくらいになるか不安。
 - ・土地購入時の金額補償

- (中央道の側道がない部分)**
- 高速道路直近での環境への影響を懸念。
 - ・側道などバッファの確保
 - ・環境施設帯の延長

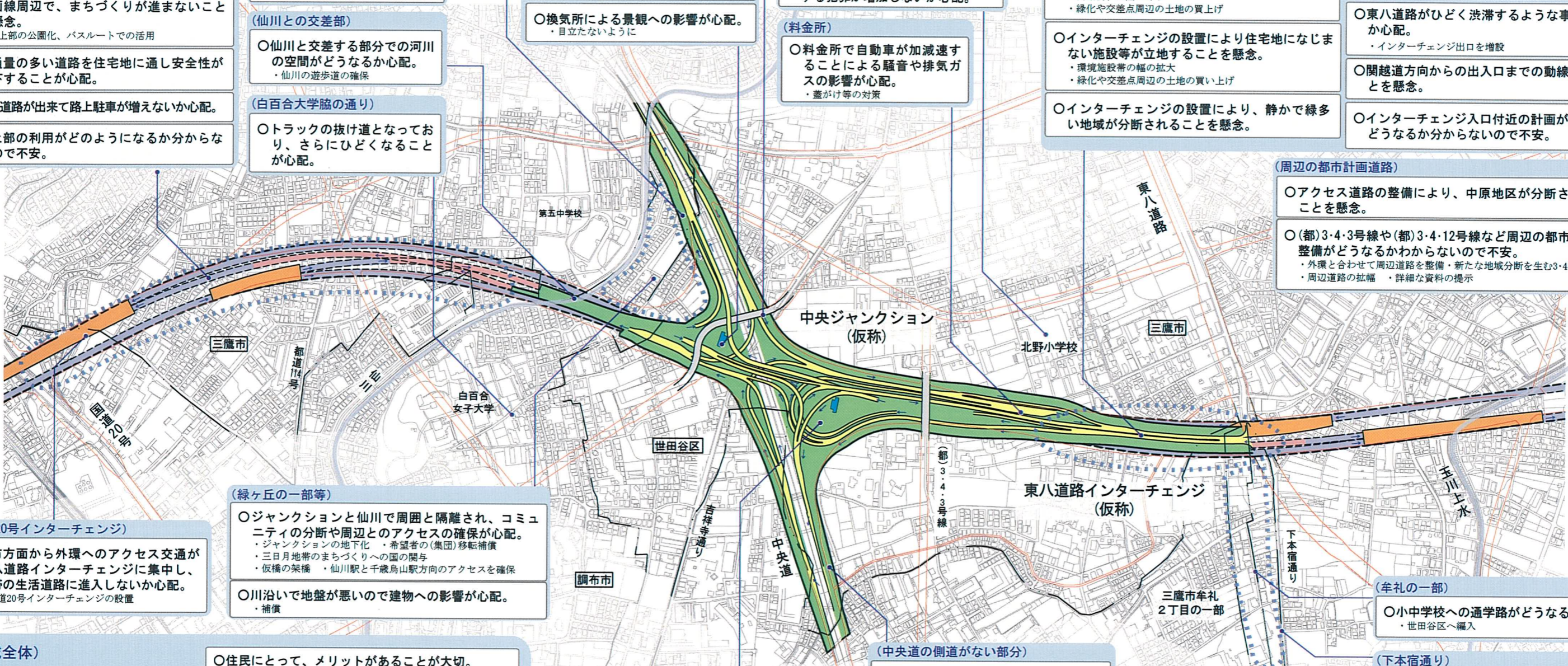
凡例

(場所の説明)

- 心配や懸念されること。
- ・計画に関する提案等

意見をいただいた場所

- == 外環の地上部の計画範囲
- == 外環の地下部の計画範囲(地上部より内側となる範囲を除く)
- == シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
- == シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)
- == トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)
- == 地表部の路面(外環)
- == 地表部の路面(外環以外)
- == 地表部のその他の施設
- == 換気所
- == 現在の都市計画
- == 進行方向



青梅街道インターチェンジ周辺での計画に関するご意見

(青梅街道インターチェンジ)

- 青梅街道インターチェンジにより地域の景観が損なわれないか心配。
- 工事に伴う騒音や生活の不便、工事車両の通行による渋滞や安全性の低下が心配。
- 青梅街道インターチェンジの予測交通量に対する信頼性を懸念。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・交通量予測に関する資料の提示
- 青梅街道インターチェンジの設置により、環境の良い善福寺地域への影響がないか心配。
 - ・地域に影響の少ないハーフィンターの設置
- インターチェンジの設置により環八への交通流入を減らすことが重要。
 - ・青梅街道インターチェンジは必要
- 大泉インターチェンジの距離が近く、東名方面へのアクセスもできないことから、インターチェンジの利用者が少なく、採算が合うかどうか心配。
 - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
 - ・ハーフィンターなら不要、フルインター化
 - ・一体構造化
 - ・外環は不要
 - ・早期整備
 - ・東名側への接続も必要
 - ・10号線の整備
 - ・青梅街道インターチェンジ以外の方法で渋滞解消
 - ・青梅街道インターチェンジの必要性を明示
 - ・既存の道路のみを整備
 - ・練馬区は独自に住民説明を行うべ
- 青梅街道インターチェンジ設置により地域が分断され、商業者への影響や歩行者の生活利便に影響がないか心配。
 - ・外環を延伸しない
 - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
- 開削工事による地盤や地下水への影響が心配

- インターチェンジアクセス交通が一般道路で渋滞や環境の悪化を引き起こしたり、生活道路に進入することで騒音、振動や交通事故の増大、生活利便性の低下などを招くことが心配。
 - ・外環を延伸しない
 - ・他事例の紹介
 - ・通り抜け車両が入り込まない工夫
 - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
- 青梅街道インターチェンジ設置による立ち退きなど地上部への影響が少ないことが重要。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・地上部街路廃止
 - ・地権者への十分な補償
- 青梅街道インターチェンジ設置により、大気汚染や騒音・振動など環境が悪化し、子供をはじめとする住民への健康被害が起こらないか心配。
 - ・沿道のケヤキの保存
 - ・外環を延伸しない
 - ・青梅街道の騒音対策、遮音壁の設置
 - ・計画区域外への補償
 - ・白紙から検討
 - ・ハーフィンターは反対
 - ・周辺の公園化
 - ・地上部街路は不要
 - ・青梅街道インターチェンジを設置しない

(善福寺公園)

- 地域の貴重な資源である善福寺公園の環境を保全することが重要。
- 善福寺池や善福寺川の水が枯れないか心配。

(杉並浄水場)

- 浄水場の水質への影響を懸念。

(関町南の一部)

- 幹線道路に囲まれることによる生活環境の悪化を懸念。
 - ・青梅街道インターチェンジ反対

(桃井第四小学校)

- 交通量の増加によって、窓を開けたり屋外での授業ができないなど、生徒の健康や学校生活に影響がないか心配。
 - ・外環を延伸しない
- 学区の分断や地域での交流、通学での安全面に影響がないか心配。

(換気所)

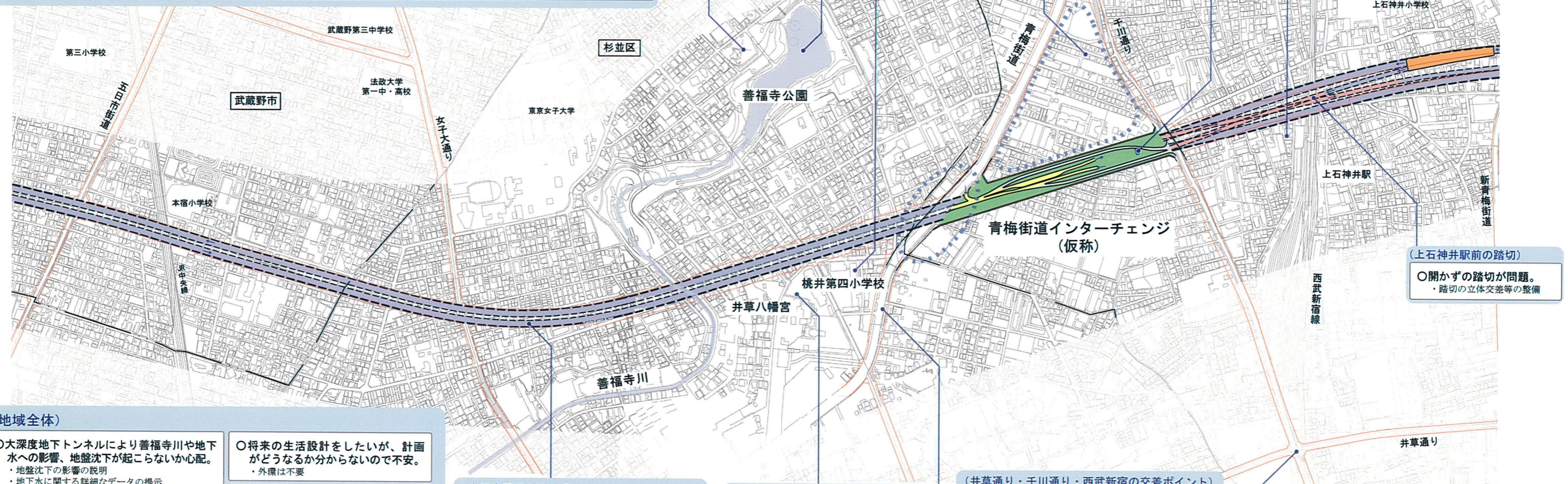
- 換気所からの排気による大気汚染等、子供に影響や危険が及ばないか心配。
 - ・青梅街道インターチェンジを設置しない
 - ・ハーフィンターは不要
 - ・換気所周りへの緑地帯設置
 - ・住宅街からの換気塔の隔離
 - ・外環計画中止
 - ・環境調査のスケジュール、データ提示
- 換気所による日照の阻害を懸念。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要

(周辺道路)

- 外環の計画変更により事業化されていない都市計画道路がどうなるか心配。
 - ・(都)補助228号線の整備
- 周辺道路の混雑緩和が大事。
 - ・踏切の解消
 - ・道路標識の行き先の改善

(上石神井)

- 上石神井のまちづくりを外環と結びつけることを懸念。
 - ・外環、インター、地上部街路、駅前整備を区別して検討
 - ・外環道の整備を優先すべき
 - ・外環より現在の道路整備を優先
- 外環の計画が進まないことによる商業者への不利益を懸念。
 - ・外環の早期建設
 - ・再開発



(地域全体)

- 大深度地下トンネルにより善福寺川や地下水への影響、地盤沈下が起こらないか心配。
 - ・地盤沈下の影響の説明
 - ・地下水に関する詳細なデータの提示
 - ・ルートの再検討
- 静かな環境、善福寺公園の水や動植物など、地域の自然環境をトータルに保全することが重要。
 - ・外環は不要
 - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
 - ・将来のまちのイメージを提示
- 工事中の騒音や生活上の不便、大型車の通行による安全性の低下等が心配。
- 地域のイメージが悪くなり、地価が下がらないか心配。

- 将来の生活設計をしたいが、計画がどうなるか分からないので不安。
 - ・外環は不要
- インターチェンジへのアクセスの利便性が重要。
 - ・外環は必要
- 水はけが悪く水害が心配。
- 地域の道路ネットワーク等まちづくりをトータルで考えることが重要。
 - ・近隣の都市整備
 - ・公園や駅前の整備
- インターチェンジ設置により環境が悪化し、地域から住民が離れていってしまうことが心配。

(大深度区間の地上部)

- 大深度地下のメリットを生かし、先人が整備した良好な住宅地を保全することが重要。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・外環2は不要
 - ・早期実施を希望
 - ・地上部の保全
 - ・歩道や緑地の整備
- 青梅街道インターチェンジがなくても、他のインターチェンジにアクセスする交通による道路混雑や交通事故等が心配。
- トンネルの工事やトンネル内で事故が起こることを想定して、地上部を整備するのではないかと懸念。

(井草八幡宮)

- 地域の貴重な資源である井草八幡宮の環境が保全されるのか心配。

(青梅街道)

- 青梅街道の美しいケヤキ並木がどうなるか心配。
 - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
- 青梅街道インターチェンジ入口付近や井草八幡宮前交差点周辺など青梅街道の渋滞がさらにひどくならないか心配。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・大深度の道路は反対

(井草通り・千川通り・西武新宿の交差点)

- 交通上のネックになっている井草通り・千川通り・西武新宿線の交差点の渋滞が問題。
 - ・青梅街道インターチェンジより踏切解消を優先

凡例

- (場所の説明)
- 心配や懸念されること。
 - ・計画に関する提案等
 - 意見をいただいた場所
- Legend for map features:
- == 外環の地上部の計画範囲
 - == 外環の地下部の計画範囲(地上部より内側となる範囲を除く)
 - == シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
 - == シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)
 - == トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)
 - == 地表部の路面(外環)
 - == 地表部の路面(外環以外)
 - == 地表部のその他の施設
 - 換気所
 - 現在の都市計画
 - 進行方向

大泉ジャンクション・目白通りインターチェンジ周辺での計画に関するご意見

(大深度区間の地上部)
 ○大深度区間の地上部で振動等による影響が心配。

(石神井公園)
 ○三宝寺池や石神井池の湧水など、石神井公園の自然に影響がないか心配。
 ・トンネル内排水を三宝寺池等に環流

(連結路併設道路)
 ○どのような構造の道路になるのかわからないので心配。
 ・アクセス道路の幅員と車線等の構造の説明が必要

(大深度より浅い地下区間)
 ○大深度に入っていく途中区間での振動、騒音が心配。

(大泉街道)
 ○交通量が多い上、歩道が狭くて危険であることが問題。

(目白通りインターチェンジ)
 ○関越道練馬出入口の混雑を懸念。
 ・大泉での関越道上り線出口設置

○地域の利便性が向上が大事
 ・早期に外環整備に着手

○目白通りインターチェンジへのアクセス交通が集中することや、生活道路に入り込み、安全性が低下することにならないか心配。
 ・周辺道路の整備
 ・買い上げ等の救済
 ・目白通りインターチェンジは必要

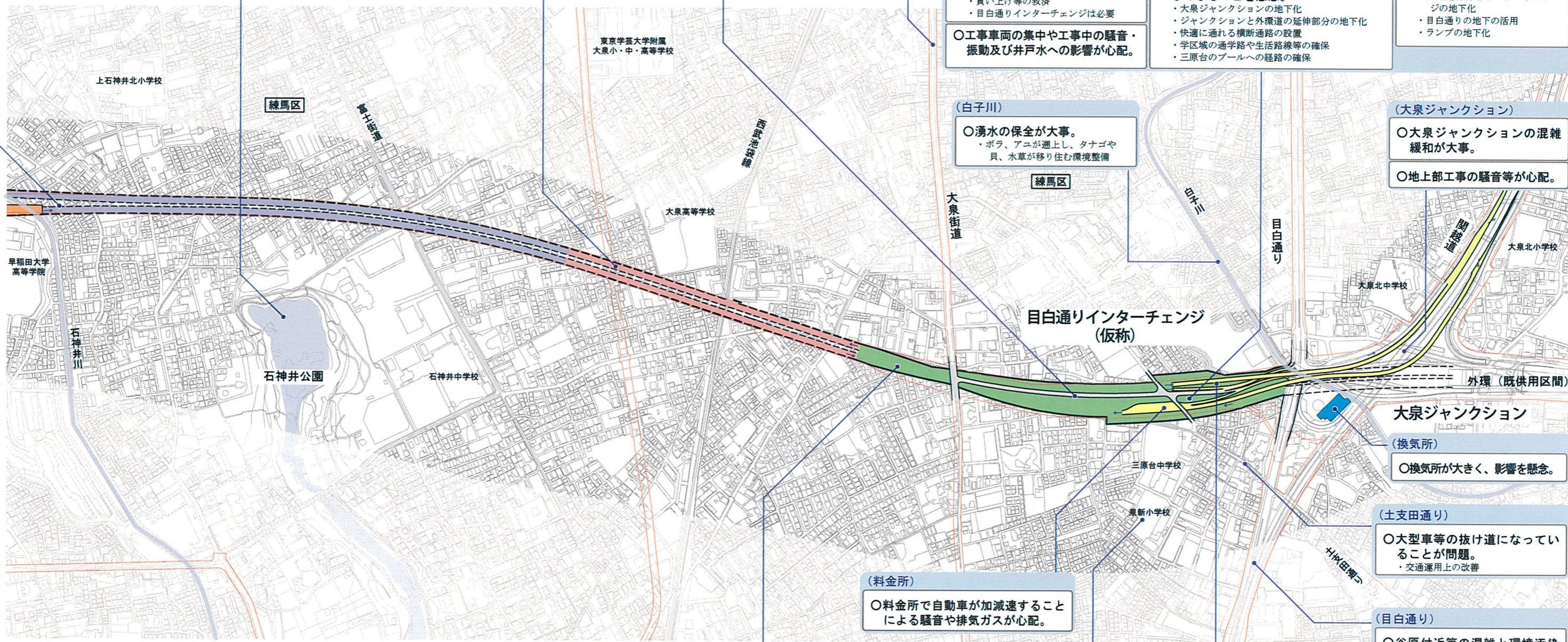
○工事車両の集中や工事騒音・振動及び井戸水への影響が心配。

○広域的な交通を生活道路から排除し、大泉ジャンクション周辺の現在の交通状況や環境を改善するとともに、生活道路の安全性を向上させることが重要。
 ・早期開通 ・10号線など他ルートへの検討
 ・目白通りインターチェンジの早期整備
 ・周辺道路の整備

○目白通りインターチェンジによる地域の分断や、建物の前面道路が利用できなくなることを懸念。
 ・大泉ジャンクションの地下化
 ・ジャンクションと外環道の延伸部分の地下化
 ・快速に通れる横断道路の設置
 ・学区の通学路や生活路線等の確保
 ・三原台のプールへの経路の確保

○インターチェンジは動線が多く、出入口での混雑が心配。
 ・ダブルインター化

○地域の環境や生活への影響が心配
 ・目白通りインターチェンジの早期整備
 ・インターチェンジの地下化
 ・外環延伸部とインターチェンジの地下化
 ・目白通りの地下の活用
 ・ランプの地下化



(白子川)
 ○湧水の保全が大事。
 ・ボラ、アユが遡上し、タナゴや貝、水草が移り住む環境整備

(大泉ジャンクション)
 ○大泉ジャンクションの混雑緩和が大事。
 ○地上部工事の騒音等が心配。

○換気所が大きく、影響を懸念。

(土支田通り)
 ○大型車等の抜け道になっていることが問題。
 ・交通運用上の改善

(目白通り)
 ○谷原付近等の混雑と環境汚染の解決が大事。
 ・目白通りの拡幅
 ・関越自動車道の首都高への接続

(料金所)
 ○料金所で自動車が増減速することによる騒音や排気ガスが心配。

(泉新小・三原台中)
 ○学区の分断が心配。

(八の釜憩いの森)
 ○八の釜憩いの森の湧水や、カワモズクへの影響が心配。
 ・憩いの場の保存 ・湧水の保全
 ・大泉ジャンクション、ジャンクションの地下化
 ・ルートの迂回 ・森の現況保存

○代替措置による湧水の復元が本当に可能なのか心配。
 ・水源の復活

(地域全体)
 ○まちづくりを考慮することが必要。
 ・外環を整備
 ・地上部街路と緑地の推進
 ・石神井公園、石神井公園駅を防災に活用
 ・歩行者の道路、緑の多い散歩道、子供が遊べる場所

○都心に近く緑の多い静かな住宅地の環境が悪くならないか心配。
 ・地上部道路は不要
 ・緑の保存

○地域の利便性を向上することが大事。
 ・環境施設帯に歩道を設置

○周辺の道路整備がどうなるかわからないので心配。

(環境施設帯)
 ○環境施設帯がどう整備されるかわからないので心配。
 ・環境施設帯の充実

○埋め戻した地上部が無機質な空間にならないか心配。

凡例

- (場所の説明)**
 ○心配や懸念されること。
 ・計画に関する提案等
- == 外環の地上部の計画範囲
 - == 外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
 - == シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
 - == シールドトンネル部(全ての構造が41mより深い箇所)
 - == トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)
 - == 地表部の路面(外環)
 - == 地表部の路面(外環以外)
 - == 地表部のその他の施設
 - == 換気所
 - == 現在の都市計画
 - == 進行方向
- 意見をいただいた場所

場所に関わらない計画に関するご意見

● (心配や懸念されること)
・(提案)

大深度地下

- 地震、洪水などの災害時の対応や地上部への影響が心配。
・外環を地上に建設 ・避難路の確保 ・最新の技術を積極的に活用
- 大深度地下トンネル内での交通事故、火災発生時の対応や地上部への影響が心配。
・外環は不要 ・外環を地上に建設 ・避難路の確保 ・消火対策
- 大深度地下トンネル内を安全に走行できることが重要。
・大深度地下の見直し ・十分な強度の確保
- 大深度地下利用の実績が少ないため、施工や運用に問題が生じないか不安。
・外環は不要
- トンネル内への漏水が心配。
- トンネル内に排気ガスが充満してしまうのではないかと心配。

インターチェンジの設置

- 長期的、広域的な視点から考えることが重要。
- 地域の生活環境を守ることが重要。
・インターチェンジは不要
- 地域の一般道路の交通渋滞を解消することが重要。
・インターチェンジの設置
- 地域の交通利便性を向上させることが重要。
・インターチェンジの設置
- インターチェンジを利用する交通が地域に集中することを懸念。
・アクセス道路の整備 ・周辺道路の整備
- 採算性がとれず借金が残ることが心配。
・インターチェンジは不要

環境

- ジャンクションやインターチェンジなどの地上部分を走行する自動車や換気所からの排気ガスによる大気への影響が心配。
・外環は不要 ・インターチェンジは不要 ・地下深く掘る ・換気所の分散設置
- ジャンクション、インターチェンジやトンネルからの騒音や振動が心配。
・外環は不要 ・インターチェンジは不要 ・防音壁の設置 ・地下深く掘る
- シールドトンネル及び開削部で地下水が遮断され、地盤の沈下、池や川の枯渇、樹木等への影響を懸念。
・外環は不要 ・インターチェンジは不要 ・大深度地下ではなく高架で
- 動植物などの自然環境や生活環境を保全することが大事。
・外環は不要 ・インターチェンジは不要 ・大深度地下賛成 ・地上部の計画廃止 ・既存道路のみ整備
- 低周波振動の影響が心配。
・地下深く掘る

- 電波障害、日照障害が心配。
- ヒートアイランドの発生が心配。
- 心の問題など数値では表せない影響が心配。
- 誘発交通による想定外の環境悪化が心配。
- 環境基準が達成されるのかどうか不安。
 - ・外環は不要
- 大深度地下利用の実績が少ないため、環境への影響を十分に予測できないのではないかと心配。
 - ・外環は不要
 - ・なるべく地下深く掘る
- 環境調査や環境影響の予測、評価が適切かわからないので心配。
 - ・詳細なデータの提示
 - ・第三者機関の客観的検証
 - ・予測過程の提示
 - ・地域住民による環境影響評価のチェック
- 供用後、環境に影響が生じた場合の対応が心配。
 - ・補償制度の創設

地上部街路

- 外環が地下化しても地上部街路が整備され、環境への影響や地域の分断等による影響が生じることが心配。
 - ・地上部街路は不要
 - ・既存道路を拡幅
- 歩道・緑地帯がある交通量の少ない道路であれば、利用する上でありがたい。

まちづくり

- インターチェンジを利用する自動車が生活道路に進入し、大気汚染、騒音などの環境への影響や交通事故が増えることを懸念。
 - ・外環は不要
 - ・都市計画道路の整備
- 地域の分断を懸念。
 - ・外環は不要
 - ・インターチェンジは不要
 - ・ルート変更
- 地上部の有効活用を図ることが大事。
 - ・地上部の緑化
 - ・遊歩道等の建設による再開発
- バリアフリー化など既存の道路の改善が大事。
 - ・既存道路の安全対策の優先実施
 - ・電線の地中化

工事

- 工事中の騒音や粉塵などの影響が心配。
 - ・散水
 - ・工事車両へのDPP装備の徹底
- 資材や発生土運搬にもなって工事車両が集中し、沿線地域で渋滞の発生や環境等への影響を懸念。
 - ・工事車両の環境影響評価
- 工事現場の安全管理が心配。

用地・補償

- 実際どこまでが計画区域に入ることになるのかが分からないので不安。
 - ・事前の建物調査の実施
- 計画線内の居住者や事業者などに対する補償や移転がどうなるのかわからないので不安。
 - ・移転に伴う精神的な影響も含めた補償 ・代替地の確保、斡旋
- できるだけ移転が生じないようにすることが重要。
 - ・外環は不要 ・インターチェンジの地下化 ・ジャンクションの地下化 ・大深度地下の活用 ・ルートの変更

外環の必要性

- 人口減少などの社会情勢や財政状況、経済情勢、価値観の変化を踏まえて検討することが必要。
 - ・外環は不要
- 大深度で通して実際に地上に影響がないのであれば、現状を考えれば外環整備はやむをえない。
 - ・外環の早期整備
- 移動の効率性や利便性を考慮することが重要。
 - ・外環の早期整備 ・インターチェンジの設置
- 外環を整備しても、首都高や環八等の渋滞は解消されないのではないかと不安。
- 将来交通量や経済効果の算出根拠や結果が妥当かどうか心配。
 - ・誘発交通量等の精査
- 中央環状線や圏央道が完成して外環の効果が減少しないか心配。
 - ・中央環状、圏央道整備まで外環は凍結
- 事業費・維持管理費用が大きいいため、採算がとれなくなり、税金が無駄遣いされるのではないかと心配。
 - ・外環は不要 ・採算の検討
- 外環整備による首都高や環八の渋滞緩和、環境改善、事故削減に期待。
 - ・外環の早期整備
- 一般道の整備や公共交通への転換など、他の施策も検討すべき。
- 地元住民が我慢を強いられるだけにならないか懸念。
 - ・外環は不要
- 外環の必要性や現ルートの妥当性を明確にすべき。
 - ・ルートの変更（環八の地下へ）

その他

- 外環を道路としての利用に加えて、他の用途で活用できるようにすることを要望。
 - ・水害時の遊水池利用 ・電気等のインフラの導入
- 検討が長引いて税金が無駄づかいされることを懸念。
 - ・外環の早期整備

進め方についてのご意見

- (心配や懸念されること)
・(提案)

検討の進め方

- 構想段階の議論が十分ではないことを懸念。

情報の提供

- 地域住民に計画や検討状況等の情報が十分周知されていないことを懸念。
 - ・駅や商店街でオープンハウスを開催
 - ・区市報の活用
 - ・集合住宅への各戸配布
 - ・主要駅等での資料配布
 - ・説明会を多く開催
 - ・定期的な情報公開
- 住民に情報が分かりやすく提供されることが大事。
 - ・他事例の紹介
 - ・グラフィックや映像による説明
 - ・計画概念図に方位を入れる
 - ・縦断図
 - ・模型の活用
- 情報開示が事後的であるなど、事業者により利便な情報しか出ていないのではないかと不安。
- 計画検討の具体化にあたって、環境への影響や対策に関する情報の提供を要望。
- 交通量や環境影響の予測結果等について、検討の過程も示すべき。
- 地上部街路に関する情報提供が断片的で、住民が混乱していることを懸念。
- 地域PIの開催案内の仕方や会の進め方が不満。
 - ・自治会回覧による会の広報
 - ・説明会を多く開催
 - ・地域PI開催の早期周知
 - ・集合住宅への各戸配布
 - ・開催日時を設定を工夫
 - ・司会者を住民側から選出
 - ・女性の係を配置
 - ・資料の事前配布
- 検討作業が遅いなどの意見対応に誠意が感じられないことを懸念。
- 環境担当部署や第三者の見解を示すべき。

意見の把握

- 地元住民の意見を十分把握することが重要。
 - ・意見交換会の開催
 - ・学校やPTA等からの意見を把握
 - ・休日の事務所開庁
 - ・自治会での全戸アンケートの実施
- 最初に計画ありきで意見を聴いているのではないかと心配。
- 地上部の計画やインターチェンジの設置は、地元住民の意向を聴いて検討することが重要。
 - ・地元説明会の開催
 - ・地域ごとに地域住民と協議
- 今後も引き続き住民の意見を聴くことを要望。
 - ・地域PIの継続的实施

意見の公表・反映

- PI会議や住民を代表する自治体の意見が反映されることを希望。
- 利害関係の異なる住民の意見が公平に扱われるか心配。
- 意見は聴くだけ聴いて、計画に反映せず、行政が一方向的に決定してしまうことが心配。

今後の進行

- 他の計画等と関連づけて、強引に事業を進めようとしていないか心配。
- スケジュールの見通しがわからず、将来の生活設計ができないので不安。
 - ・計画スケジュールの明確化
- 訴訟などで用地買収に長期間かかることにならないか心配。
- 地元区市は、外環や関連するまちづくりに対する考え方を明確にすべき。